

第6章 坂井市水道事業が目指す未来

坂井市水道事業について、第3章でこれまでの取り組み状況、第4章で現状の課題、第5章では将来の事業環境について示しました。

これらを踏まえて、ここでは厚生労働省の示す「新水道ビジョン」の考え方にもとづいて、「安全」「強靱」「持続」の3つの視点から、坂井市水道事業の現状の課題と将来の事業環境を再整理するとともに、坂井市水道事業が目指す未来として今後実施すべき施策を示します。



◆三国花火大会



◆丸岡城天守



◆東尋坊



◆ユリーム春江

坂井市地域水道ビジョン (平成19年度～令和2年度)

『安心』 安心して誰もが利用できる水道

主要施策

- ・良質な自己水源の確保 (継続実施)
- ・クリプトスポリジウム対策の実施 (実施済み)
- ・水質管理体制の強化 (継続実施)
- ・鉛給水管・石綿管の解消 (継続実施)
- ・配水エリアの検討 (実施済み)

『安定』 継続して(未来へ)安定した水を 供給できる水道

主要施策

- ・計画的な施設の更新 (継続実施)
- ・経営基盤の強化 (継続実施)
- ・組織の合理化と民間委託の検討 (継続実施)
- ・水道サービスの向上 (継続実施)

『持続』 災害に強い水道

主要施策

- ・応急給水拠点の整備
(整備が進んでいるため当面は実施しない)
- ・基幹施設の耐震化 (継続実施)
- ・危機管理マニュアルの整備
(実施済み、今後の状況にあわせて見直し)

『環境』 環境にやさしい水道

主要施策

- ・環境負荷の低減 (継続実施)
- ・リサイクルの推進 (継続実施)
- ・環境管理の推進 (継続実施)

厚労省の新水道ビジョン (平成25年3月策定)

『安全』 全ての国民が、いつでもどこでも、水 をおいしく飲める水道

『強靱』 自然災害等による被災を最小限にとど め、被災した場合であったも、迅速に 復旧できるしなやかな水道

『持続』 給水人口や給水量が減少した状況にお いても、健全かつ安定的な事業運営が 可能な水道

現状の課題

【安全の視点】

- ・水安全計画が未策定である

【強靱の視点】

- ・施設及び管路の耐震化が進んでいない

【持続の視点】

- ・適正な料金収入が確保できておらず
営業損失が生じている
- ・設備及び管路の老朽化が進んでいる
- ・経営戦略が未策定である

将来の事業環境

【外部環境】

- ・給水人口及び給水量の減少に伴う給水
収益減少が見通されている
- ・地震災害や豪雪災害への対策の必要性
が高まっている

【内部環境】

- ・更新需要増加が見通されている

坂井市水道事業が目指す未来

「おいしい水」「安全な水」を未来へ

安全

安全で おいしい水を供給する水道

- 施策① 水質管理体制の強化
- 施策② 水源保全対策の推進

強靱

災害に強く 安定した水を供給できる水道

- 施策③ 耐震化対策の推進
- 施策④ 危機管理対応の強化

持続

健全経営により 未来へつなぐ水道

- 施策⑤ 老朽化対策の推進
- 施策⑥ 健全な事業運営の推進
- 施策⑦ 水道水に対する信頼性の向上